

特集：舟橋村議会議員による令和8年度予算評価
議員コラム：田村 馨

ふなはし議会だより

Funahashi

ふなはし

Bridging

ぶりっじんぐ

Voices

ごおいしーず

INDEX

- 特集：舟橋村議会議員による令和8年度予算評価・・・P 2
- NEWS・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6
- FUN! FUN! FUNAHASHI!・・・・・・・・・P 8
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 9
- 議員コラム：田村 馨・・・・・・・・・・・・P16
- 3月定例会議案一覧・・・・・・・・・・・・P17
- 常任委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・P18
- クロスワード、あとがき・・・・・・・・・・P20

3月15日 こどもたち待望の新遊具完成を祝って、お披露目会が開催された。オレンジパークに、こども公園部長らから提案のあった、インクルーシブ遊具が完成し、テープカット、炭酸水シャンパンファイト、シャボン玉、クラッカーで、参加者と共に約20年ぶりとなる遊具の設置を祝った。



みんなとだから楽しめるブランコお披露目会

特集：舟橋村議会議員による

令和8年度予算

評価

- ◎ とても評価する
- ある程度評価する
- △ あまり評価しない
- × まったく評価しない

本特集では3月議会にて審議された、令和8年度舟橋村一般会計予算に対する評価を議員一人一人に行ってもらいました。次ページでは本年度予算の概要と、令和元年からの予算の変化をデータで紹介しています。今年の舟橋村の予算について一緒に考えてみませんか？

魅力ある未来を実現する予算

魅力ある未来を実現するための施策の充実を感じる予算だと感じました。特に舟橋村スマートヴィレッジ構築事業における村のコンセプトの策定には期待しています。どの行政でも掲げているような住民ウケの良い言葉を並べただけの構想ではなく、本村独自の構想が構築されることを期待しています。また、農産品加工施設の整備による、ふるさと納税寄付額の増加と、村の農業の活性化に大いに期待しています。



小杉 知弘

税収増に向けた攻めの予算

農産物加工工場の建設など、産業振興とふるさと納税による税収増を狙った施策は、うまく国の補助金も使い、実質的な村の負担はかなり抑えられている。自動運転バス導入への取組も前に進んでおり、そのような攻めの姿勢は非常に評価できる。一方、テニスコートの夜間照明は受益者が限られる割に費用負担が大きい。今後の運営で村全体の利益となるように努めてほしい。



古川 元規

全世代が安心の村へ

「子育て共助の村づくり」の次の段階として、「子どもだけでなく高齢者を含めた全世代が安心して暮らせる村づくりを進める」方針を前向きに評価します。農産品の加工・販売による「稼ぐ力」の強化や、公共交通の実証実験、シニアカー補助など、高齢者の外出や社会参加を支える取組に期待しています。テニスコート照明の整備も、多世代の交流や健康づくりにつながることを望みます。



加藤 智恵子

村はどこへ行く？先が見えない。

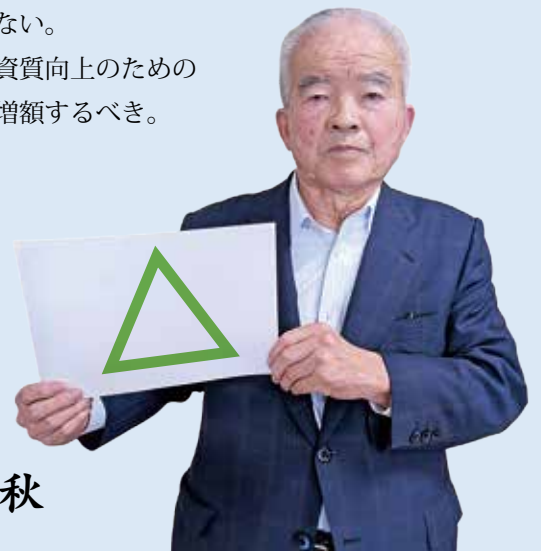
整備等に計画性がない。事業の先が見えない。未来を見据えた計画にとぼしい。

事業執行においてもしかり。

河川公園テニスコート照明設備整備費58百万円余りの予算は高いが評価。精査が必要。維持費が掛かる。使用料はとるにしても、とてとても。使用頻度です。雨が降れば使えない。屋根が必要。

河川公園の遊具整備は一気に整備すべき。相乗効果が生まれにくい。

職員の資質向上のための研修費を増額すべき。



森 弘秋

予算執行プロセスを見守ります。

今回の予算は、「すべては村民のために」という原点に立ち、精査いたしました。その結果、評価できる点と課題が混在するものだと感じています。

ふるさと納税の推進など、村の財源を自ら確保しようとする前向きな事業を高く評価します。

一方で、長年慣習化し効果が不透明なまま続いている事業（既得権益化した部分）へのチェックが不十分であったと痛感しています。

この反省を重く受け止め、可決後の執行プロセスにおいても真に村民の利益につながっているかを厳しく見守ってまいります。



竹島 貴行

役場内の一体感と早期着手に期待

新年度当初予算の評価については、新規事業・担当課に対する予算配分・住民からの要望に対しての施策については、良くバランスが取れていると感じるし、役場内でのヒヤリングを経て知恵を出し合い十分協議された予算編成であると評価出来る。

しかしながら、新規継続を含めた多くの事業が年度内にどこまで推進出来るか少々不安が残る。



前原 英石

※田村議員による評価、コメントにつきましては期日までに原稿が提出されなかったため不掲載となっています。

会計名	令和8年度予算額	前年度比	増減率
一般会計	23億4807万4千円	1億7030万7千円	7.820
特別会計	2億4337万3千円	261万0千円	1.080
簡易水道事業会計	1億2909万6千円	1577万0千円	13.920
計	27億2054万3千円	1億8868万7千円	7.450

主な事業（一般会計）

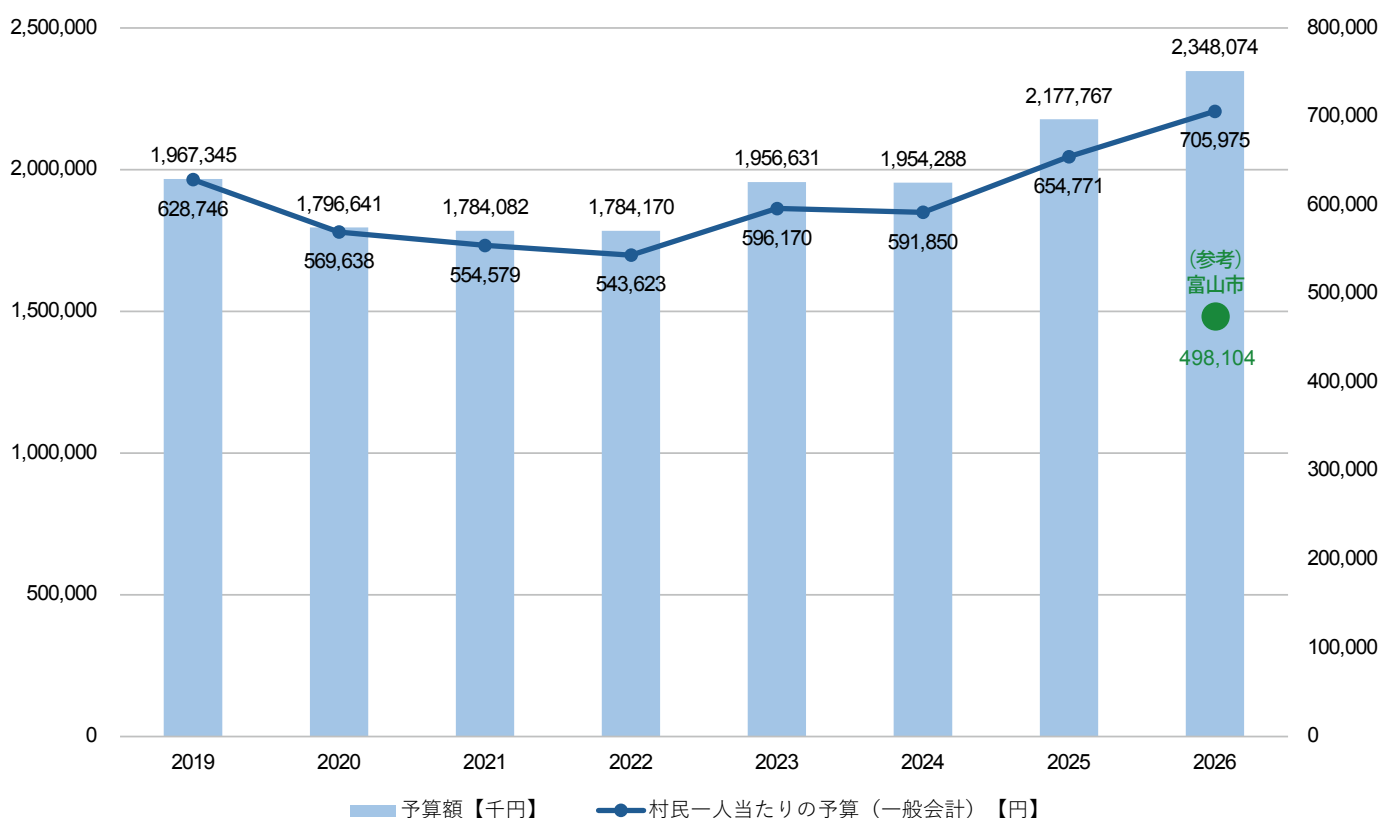
農産品加工施設整備	6,000万4千円
舟橋村スマートヴィレッジ構築事業委託料	2,300万円
自動運転バスの導入に向けた実証実験委託料	100万円
スマホ購入補助金	30万円
シニアカー・特定小型原動機付自転車購入補助金	50万円
無医村解消のための診療所開設等支度金	500万円
「放課後等の居場所」見守り業務委託料	182万5千円
加齢性難聴者補聴器購入費助成事業	8万円
京坪川河川公園テニスコート照明設備設置実施設計・工事	5,888万3千円
京坪川河川公園公園遊具設置工事	824万6千円

グラフで見る舟橋村一般会計予算

■一般会計予算額の推移

一般会計予算は2022年以降上昇傾向にあり、本年度は昨年度比+7.82%増の23億4807万4千円です。

本予算額を本年3月1日時点の村の人口（3326人）で割った金額は70万5975円となり、今年度は村民一人当たりに対し約70万円の予算が使われる計算となります。これは富山市と比較して約1.4倍の金額です。



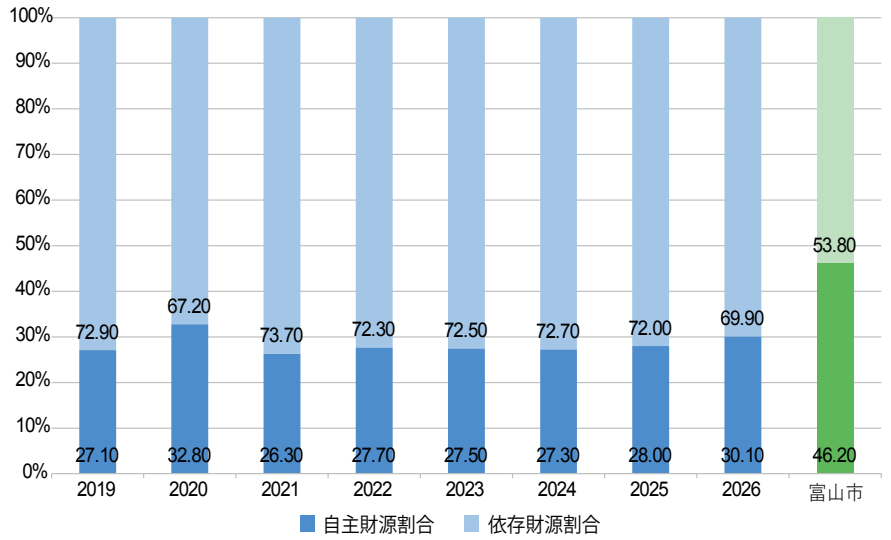
自主財源比率は上昇していますが…

舟橋村の財源内訳の推移（表1）は、自主財源と依存財源の割合を示したものです。自主財源の比率が高いほど、国や県に依存しない自立した財政運営が可能であるとされています。

本村では近年、この自主財源比率が上昇していますが、その背景にはふるさと納税による寄付額の増加が影響していると考えられます。

こうした寄付に支えられた財源構造を、今後どのように安定的なものとしていくかが課題と言えます。

■舟橋村財源内訳の推移（表1）



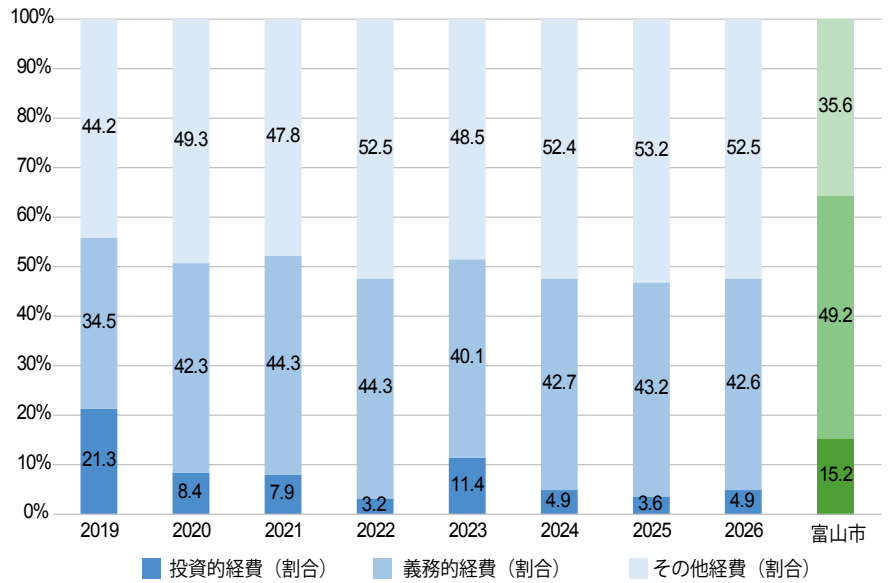
その他経費が高いことは良いこと？

歳出割合の推移（表2）は、「投資的経費」「義務的経費」「その他経費」の割合を示したものです。本村では、義務的経費と投資的経費の割合が低く、その他経費の割合が高い傾向です。

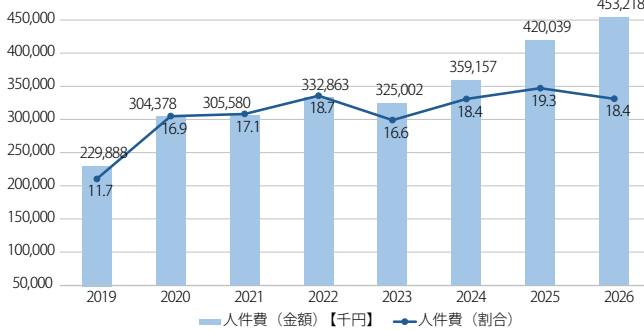
義務的経費は人件費など削減が難しい経費であり、その割合が低いことは一般的に望ましいとされています。

一方で、その他経費は公共施設の維持管理費や各種団体への助成金・負担金などを含むものであり、住民サービスに直結する支出でもあります。住民サービスの充実と財政の持続性のバランスをどのように図っていくか、今後の検討が求められます。

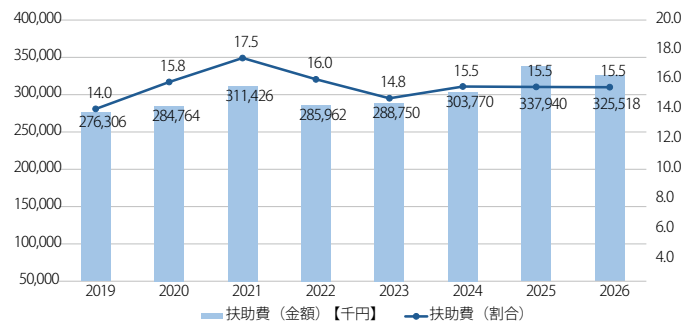
■歳出割合の推移（表2）



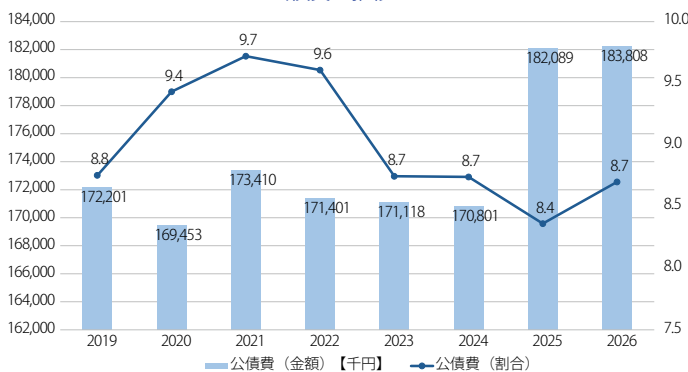
人件費の推移



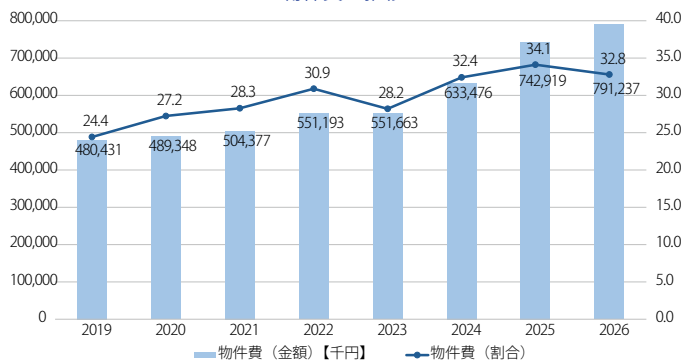
扶助費の推移



公債費の推移



物件費の推移



- 01 舟橋村議会が町村議会として優良表彰
- 02 全国町村議会広報クリニック
- 03 ふなはしこどもまんなかタウンミーティング
- 04 若者たちが企画運営
- 05 みんなとだから楽しめるブランコ完成！！

NEWS 01 舟橋村議会が町村議会として優良表彰

2026. 2. 16 富山県町村議会議長会

日本全国に926ある町と村の議会の中で、本年は富山県を代表して舟橋村議会が優良表彰の名誉を受けました。永年貢献をされた他の町村の議員の方々とともに賞状を受け取り、舟橋村議会議長の古川元規が表彰者を代表して謝辞を述べさせていただきました。この栄誉に報いるために、今後とも地方自治の振興発展に努めてまいりたいと思います。(古川 記)



NEWS 02 全国町村議会広報クリニック

2026. 2. 17

広報特別委員会では、議会広報の質の向上を目的に議会広報クリニックに参加しました。クリニックでは、講師の越地真一郎氏のもと、全国の町村議会が発行する広報紙を持ち寄り、互いに良い点や改善点を指摘し合いながら、より良い紙面づくりについて学びました。

今回は、事前に他自治体の議会だよりを精読しコメントを作成したうえで、当日に意見交換を行う形式で実施されました。

こうした過程を通じて、本村議会だよりの強みや課題をこれまで以上に把握することができ、大変有意義な機会となりました。

なお、今号の予算特集は、本クリニックで得た知見や他自治体の事例を参考に編集しています。(小杉 記)



NEWS 03 ふなはしこどもまんなかタウンミーティング

2026. 3. 9

舟橋小学校6年生による総合的な学習の時間のまとめの学習発表会が行われました。第一部は舟橋村の歴史から素敵を考えるという内容で、河川の大蛇行がもたらした本村への恩恵を紹介してくれました。

第二部では5つの班毎に提案をしてくれました。それぞれ「竹鼻用水周辺エリアに名称を付けて、看板を設置してほしい。」「竹鼻リバーサイド公園の花壇の維持管理に大人の力を貸してほしい。」「竹鼻用水にカワニナの為に餌となる野菜を沈めて欲しい。」「村の農家を応援するためのシールの提案。」「竹鼻用水の壊れた護岸を石積みの護岸のまま修復して欲しい。」という内容をわかりやすい資料で提案してくれました。何より児童一人一人が「よりよいふる

さをつくろう。」という思いを持って活動してくれたことに議員一同感激をした素敵な時間でした。(小杉 記)



04 若者たちが企画運営

2026. 3. 15 はたちの集い

本年も、舟橋村で生まれ育ち二十歳を迎えた若者たちの門出を祝う「はたちの集い」が多数の親族・関係者のもと、挙行されました。本年は、司会進行をはじめ、企画段階から二十歳の若者たちが自ら企画運営をされるという珍しい形式で行われました。そんな中、一人一人今後の抱負を語る若者たちに感心させられるとともに、舟橋村議会として、今後も住み続けたい、またはまた戻ってきたいと思われるような舟橋村を作っていくことに邁進することをお約束させていただきました。(古川 記)



05 みんなとだから楽しめるブランコ完成!!

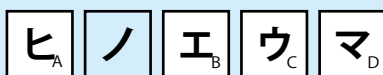
2026. 3. 15

3月15日 オレンジパークに設置された新遊具2連ブランコが完成し、お披露目会が盛大に行われました。この新遊具はオレンジパークの魅力向上に取組む舟橋小学校児童の提案で、こども公園部長らから村長・村議会に遊具の設置を強く要望され、それを受けて事業化されました。お披露目会には、26年度こども公園部長の新メンバー11人を含む28人が出席し、渡辺村長や村議会議員らとテープカットをし、その後参加者が順にブランコに乗り満面の笑顔で楽しんでいました。これを機に、オレンジパークがこれまで以上に多くの皆さんに利用して欲しいものです。(前原 記)



前号（3月議会号）のクロスワードの答え

今年の六十干支は



	5	シ	ン	ロ	ウ			10	チ	21	22	コ
1	サ	ユ		7	グ	ン	ジ	19	ヒ _A		12	イ _D マ _D
2	ド	ク	14	ハ		ナ		9	エ	イ	セ	イ
		6	ハ	ク	16	サ	ン		ツ		13	イ
3	チ	イ	キ	ジ	シ	18	ユ	ソ	20	シ	キ	
	エ _B		ヨ			8	カ	ン	コ	ド	23	リ
4	ス	カ	イ	ウ _C	エ	イ		11	ク	ウ	ロ	

前号（3月議会号）に寄せられたご意見

- ・1泊2日の旅程で山陰地方の2自治体視察、お疲れさまでした。得られた学びを具体化されるよう期待してます。

3月議会号はこちら



FUN! FUN! FUNAHASHI!

素敵な村民
みつけた!

FUN!FUN!FUNAHASHI! は、スポーツや文化活動などでがんばっている村民や楽しんでいる村民を紹介します。今回は以下の質問に答えてもらいました。

- ①今がんばっている事
- ②将来の夢、今後の目標
- ③スポーツ／文化活動をはじめたきっかけ
- ④舟橋村の好きなところ



舟橋村健康福祉課

Yuji
Sakai

さか い ゆう じ
酒井 雄司 さん

- ①買すぎて積んでいる小説や専門書を少しずつ消化
- ②限られた地域資源や法令等による制限の中にあつて、村の人たちの満足度をできる限り高めていく仕事をする事。
- ③旅行先でバスに乗り遅れそうになりダッシュしたことがきっかけで、街ランの良さに気づいた。
- ④いろんな方が気さくに話をしてくれたり、職場の近くに人懐っこいワンちゃんがいったり…とか(背景はうちの犬です)



シャボン玉エンターテインメント
チーム「バブリッジ」代表

Saki
Sakamoto

さか もと さ き
坂本 佐紀 さん

- ①新しいシャボン玉道具の開発や、ショーの構成を考えること。
- ②シャボン玉で1人でも多くの人を笑顔にしたい
- ③友人がしていたシャボン玉ショーに感動して
- ④人がつながれる環境がある



舟橋村住民生活課

Mizuki
Numazaki

ぬま ざき みず き
沼崎 瑞生 さん

- ①簿記の資格勉強
- ②資格取得
- ③仕事で必要になると先輩からお聞きしたため始めました。
- ④人との距離が近く助け合いの多いところです。

FUN!FUN!FUNAHASHI! であなたの活動を紹介させてください!

FUN!FUN!FUNAHASHI! では、スポーツや文化活動などでがんばっていたり、楽しんでいたりする村民を今後も紹介していきます。年齢や分野は問いません。あなたのFUN(がんばっている事や楽しんでいる事)を紹介していただける方は右のQRコードより必要情報の登録をお願いいたします。



村政の
ココを
問う！

一 般 質 問

舟橋村のさまざまな施策や課題等について、
議員が自身の主張も含めて村の考えを聞く**一般質問**。
3月定例会で出された各議員の一般質問を紹介します。

田村 馨 議員…………… P 10

1. エンディングサポート推進、終活相談専用窓口設置について

森 弘秋 議員…………… P 11

1. 関係人口の増加に係る観光地の再発見とその活用・運用方向を問う

小杉 知弘 議員…………… P 12

1. 青少年のSNS利用制限について

前原 英石 議員…………… P 13

1. 「ながら見守隊」の現状について

竹島 貴行 議員…………… P 14

1. 第5次舟橋村総合計画後期基本計画素案について
2. 通学路の安全対策について
3. Jアラートの再点検について
4. 消防力の強化について
5. 富山地方鉄道への支援金について

加藤 智恵子 議員…………… P 15

1. オレンジパークの記念イベントについて
2. 高齢者の孤立防止と最期まで安心して暮らせる地域づくりについて

01

一般質問

田村 馨 議員



◀動画は
こちら



希望者にエンディングノートを配布中

Q エンディングサポート推進、終活相談専用窓口設置について問う

誰にとっても、自分がどういう終末を迎えるかは大きな関心事であり、心配している方が多いと思う。

住まいや財産、葬儀やお墓、緊急連絡先や遺言書の保管場所など、生前にこうした様々なことを自らの意思で決めておくことが大切であるが、「まだ元気だから」と先送りしている方が多いのが現状ではないか。

しかし、急な病気の悪化や不慮の事故などで、意思表示が困難になる場合もある。

そうなると家族や親族は、本人の終末期の医療に対する希望や、臓器提供の意思表示を確認する術がないまま、

後々「これでよかったのか」との思いにかられる場合も少なくない。

今でこそ終活や生前葬という言葉も一般的になったが、終活の設計図とも言われる「エンディングノート」の作成にまで至らない方も多いのではないか。

そこで、エンディングノートの普及や、終活情報を事前に村に登録する制度の創設などについて伺う。

また、高齢化の一層の進展に向けて、終活支援を本格的に推進するためにも、終活相談の専用窓口を設置する必要があると考えるが、見解を伺う。

A 在宅医療・福祉講演会の場でエンディングノートを配布

生前に自らの意思を示しておくことは、本人の尊厳を守り、ご家族の負担を軽減する上で大切なことであると考えている。

舟橋村では、毎年3月開催の「在宅医療・福祉講演会」の場で、希望される方にエンディングノートを配布している。今年は、村内で診療所の開設を予定されている渡辺医師を講師に招いて3月7日に開催したところ、約80名の方にご参加いただいた。エンディングノートに関心を示される方もあり、当日23冊配布した。書き方や相談受付は、地域包括支援センターで対応している。

終活情報を事前に村に登録する制度の創設や専用窓口の設置については、現在のところ考えていないが、他自治体の事例も参考にしながら、終活支援のあり方について、普及啓発の方法なども含めて、今後、調査研究してまいりたい。



上記エンディングノートは役場2階社会福祉協議会で配布しています。

02 一般質問 森 弘秋 議員



◀動画は
こちら



舟橋村の魅力 パッケージ化へ

Q 関係人口の増加に係る観光地の再発見とその活用・運用方向を問う

舟橋村は、関係人口3万人の目標の達成をめがけているが、目標達成のため、何が考えられるか？令和6年からはじまった「サンフラワープロジェクト」のヒマワリ畑はどこへ？2年目の計画とし、ヒマワリ畑の拡大、飛び地でも？休憩用のベンチは？

また、「竹内天神堂古墳」を整備し、周辺を観光スポットとして整備するという計画があった。別視点から、国重地区に大岩道の「道先案内石」があります。昭和初期には国重地区で「青ソブ」の水がたくさん出て、大岩不動に参詣する人がこの街道を往復し、この井戸水をのみ一服。また、舟橋交差点の近くに釈迦の石の像形がある。立派な木造の小堂の中に祀られている。仏生寺には大願寺、先手観音が安置されていた。

竹内神明社天神堂古墳がある。さらに、ばんどり騒動もある。トミヨ・サクラマスの看板にみられるように、稚魚の放流、オレンジパーク内の夜間照明。テニスコートを活用等々。「サンフラワープロジェクト」であるヒマワリ畑を拠点として、村の観光地を周遊して遊べる

コースに設定。「名所等」を周遊するAコース、「遊び」を主とするBコース等、他市町の観光地も視野に入れ、新名所、隠れている名所・史跡はないか、発掘ですね。発想の転換です。どのように工夫・発展させるのか。施設の回遊。回遊性図るための、「電光掲示板」の設置による宣伝。等。村の観光をどうすればよいのか？どのように工夫・発展させるか、考えは如何に？



※イメージ写真です。

A 舟橋村の魅力ある観光資源をパッケージ化してPR

舟橋村は日本一面積の小さい自治体だが、立山黒部ジオパーク指定地の竹内天神堂古墳や県指定有形文化財を本尊とする無量寺など、歴史的価値の高い名所・文化財を有している。さらに令和6年度からは、新たな観光資源開発としてサンフラワープロジェクトにも取り組んでいる。村外の視点から観光施策を整理すると、3つのポイントが考えられる。第一に、越中街道の珍しい石仏として紹介されている釈迦石仏など、村の歴史資源に関する情報の整理と発信。第二に、村内を自転車です約30分、徒歩でも約2時間で一周できるコンパクトな地理的条件

を生かし、ひまわり畑やオレンジパークなど季節の見どころを結んだ周遊ルートを整備すること。第三に、周遊ルートのPRマップ作成やSNSを活用した情報発信の強化であり、地域おこし協力隊やデジタルコミュニティ舟橋村DAO、ナウル共和国との広報連携など多様な手段を活用することが重要である。今後はサンフラワープロジェクトを持続可能な観光資源として発展させるとともに、自動運転バスの実証実験についても観光誘客の手段として活用できるか検討していく。

03

一般質問

小杉 知弘 議員



◀動画はこちら



SNS利用ルール策定を検討

Q 青少年のSNS利用制限について村の取り組み状況を問う

SNSは私たちの生活に欠かせないコミュニケーション手段となりました。

しかしその一方で、SNSをきっかけとした犯罪やトラブルが全国的に深刻な問題となっています。

いわゆる「闇バイト」による犯罪への関与、違法薬物の売買、さらには匿名性を背景とした誹謗中傷やいじめなど、子どもたちが被害者にも加害者にもなり得る事例が増えています。

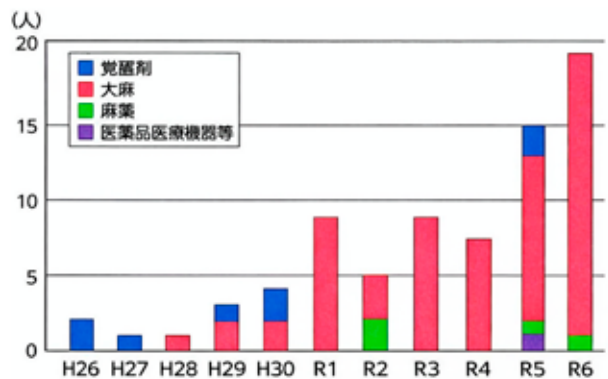
青少年をインターネット上の危険から守るための議論は、国内外で進められており、青少年をSNSの危険から守るため、自治体が一定のルールや指針を示す動きは全国で広がりつつあります。

本村においても、SNS利用に関する村独自の指針、あるいは条例の整備について、家庭や学校だけに任せるのではなく、自治体として一定の方向性を示す時期に来ていると感じます。

子どもたちを守るためのルールをつくることは、自由を奪うことではなく、未来を守ることだと私は考えます。

青少年のSNSの利用について、村としてどのように考えるのか見解を伺うとともに、「青少年におけるSNSの利用状況」「村内におけるSNSに関連した犯罪やトラブルなどの発生状況」「SNS利用に関する注意喚起や啓発などの取り組み状況」について伺います。

富山県における薬物乱用少年の検挙人員の推移



行為別	年別	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総数(人)		2	1	1	3	4	9	5	9	7	15	19
覚醒剤		2	1	0	1	2	0	0	0	0	2	0
大麻		0	0	1	2	2	9	3	9	7	11	18
麻薬		0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1
医薬品医療機器等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

※犯行時20歳未満であったものを計上

A 住民意見を反映したルール作りに向け検討

舟橋村における18歳未満の青少年のSNS利用状況については、学校外での利用が主であることから実態の把握はできていない。また、SNSを介した闇バイトや詐欺、いじめ等の犯罪・トラブルについても、警察案件であり個人特定や人権の観点から情報が表に出にくく、把握は困難である。小中学校では、生活アンケートや教育相談を通じて問題が明らかになった場合には、指導や支援を行い解決に努めている。注意喚起や啓発については、こども家庭庁の資料を活用しているが、村独自の取り組みはない。学校では情報モラル教育として、小学校では

道徳や各教科を通じた指導、中学校ではネットトラブル防止教室や生活ノートの活用により個別指導を実施している。一方で、SNS利用は家庭での管理が重要であり、保護者による把握とルール作りが不可欠である。村としての指針策定は現時点で予定していないが、住民の要望や国・県の動向を踏まえ検討する。今後は関係機関との連携や情報共有を進め、学校・家庭・地域が一体となった対応を図るとともに、学校運営協議会等、住民参加の場で広く意見を聞きながら検討を進めていきたい。

04 一般質問 前原 英石 議員



◀動画は
こちら



ふなはしビレッジーズ のぼり旗のデザインを刷新

Q 「ながら見守隊」の現状について問う

設立時には新聞にも取り上げられていた「ながら見守り隊」ですが、現状ではその影も形もないように思えます。

趣旨に賛同してくださった多くの方々には、自治会ごとに刺繍の色を変えた帽子を配布し協力を頂いていましたが、今ではその帽子を使用している人も見かけなくなりましたし、また啓発のための登り旗も見掛けなくなったような気がします。

4月の入学式の前に「ながら見守り隊」の隊員になっ

ておられる皆さんに再度周知されてはどうでしょうか？ また趣旨に賛同して頂ける方を更に募集されてはどうでしょうか？

子供たちが安心して登下校が出来、帰宅後には外で遊んだり、子供たちの発案で設置されるブランコで皆と楽しく遊ぶ、そんな学校生活を送れるよう「ながら見守り隊」が見える形での継続と強化を図っていくと共に、舟橋村にはこんな組織があるということを広く知って貰うことによって、一つの犯罪抑止効果に繋がると思います。

A 関係団体と連携し、持続的な活動体制の構築に努める

ながら見守り隊「ふなはしビレッジーズ」は、児童生徒の登下校時の見守りや日中の地域防犯を目的に、地域学校協働本部「ふなはしテトラ」を主体として令和4年6月に発足した。活動開始時には約140名の賛同を得て、帽子を配布し取組を開始した。

現在は各個人による自主的な活動が中心であり、活動実態の詳細な把握には至っていないが、地域の見守り意識は着実に広がっているものと考えられる。令和5年には、のぼり旗や役場テラスの横断幕を整備し、活動の周知を図った。のぼり旗は自治会長会議を通じて各地区へ配布し、設置を依頼しているほか、令和6年には新たな旗を配布した。本年度はデザインを刷新し、「見守り活動」の表示を強調することで、より分かりやすい周知に努めた。

今後は、活動の充実と地域住民への周知・参加促進に一層取り組み、地域全体での見守り体制の強化を図る考えである。併せて、早急にチラシを作成して配布するほか、引き続き広報紙に掲載して周知していきたい。また、希望者が多い場合には新年度に帽子を追加作成したい。



リニューアルされたのぼり旗を紹介する土田教育長

05

一般質問

竹島 貴行 議員



◀動画はこちら



第5次舟橋村総合計画後期基本計画 周知へ

Q 第5次舟橋村総合計画後期基本計画 村づくり骨子である基本計画の周知について問う

村づくりの基本である計画は主権者である村民の認識が大切だと考える。村民に周知を図る施策が必要と考え、当局の見解を質した。

A ホームページ掲載や図書館への配置を通じて、広く周知

第5次舟橋村総合計画後期基本計画素案のパブリックコメントでは、防犯・交通安全に関する1件の意見が寄せられた。計画素案への反映や事業実施時の参考とさせていただくとともに、第2回総

合計画審議会での審議を経て、村ホームページへの掲載や村立図書館の郷土資料コーナーへの配置などを通じて、広く村民へ周知してまいりたい。

防犯カメラの追加設置を検討

Q 通学路の安全対策 時代背景を考え、通学路の安全対策をどの様に図るのか問う

通学路における不審者対応や降雪時の除雪確保への対応を対策すべきと考え、当局の姿勢を質した。

A 関係機関と連携し、児童生徒の安全確保に努める

街灯は地区要望に基づき段階的に整備を進め、防犯カメラは通学路の死角調査を踏まえ追加設置を検討する。通学路の除雪は通学時間帯前に完了するよう実施している。今後は、通学路安全対策の充実に加え、不審者対応では警察等と連携し巡回体制の整備を図りたい。(住民生活課長答弁)

通学路は学校と保護者が協議し、安全性を考慮して決定、教育委員会へ報告されている。村は関係機関で構成する会議で危険箇

所を共有・対応し、警察と連携しながら児童生徒の安全確保に継続的に取り組んでいく。(教育長答弁)

街灯は自治会要望に基づき順次整備しているが、予算や設置条件により一括対応は困難な状況。今後は自治会主体の整備や補助制度の活用も含め検討していく。防犯カメラは県警補助制度を活用し、優先順位を踏まえ設置の検討を図りたい。(村長答弁)

Jアラートの難聴エリア補完的手段の導入を検討

Q Jアラートの機能確認 Jアラートの機能点検でアラートの目的達成度の検証状況について問う

Jアラートは緊急情報を村民に伝える目的とするものであり、システムの機能検証が出来ているのかを質した。

A 一部に難聴エリアを確認。補完的手段の導入を検討

Jアラート伝達試験では屋外スピーカー等の動作確認を実施し、機器は正常に作動していることを確認した。一方、住民への伝達効果の検証は不十分であり、今後適切な検証方法の確立が課題。

音声到達範囲の検証では、竹鼻、東芦原地区の一部で難聴エリアが確認され、早期に整備を進めるとともに、補完的手段の導入も検討する。

団員補充で消防力強化へ

Q 消防力の強化 東部消防舟橋分遣所の開設から12年経過し、今後の更なる消防力強化について問う

開設12年が経過した舟橋分遣所は人材不足の今の時代、今後の村の安心安全の為に消防力強化も視野に入れるべきであると考え見解を質した。

A 消防署員の人材は一定数を確保。消防団員拡充は近隣自治体と共同で取り組む

富山県東部消防組合は若手職員が一定数確保され、定数増員後も採用を継続し、数年で定数到達の見込み。年次有給休暇の取得も増加傾向にあり、働きやすい職場環境づくりが進められている。(総務課長答弁)

舟橋分遣所の消防署格上げは、人口要件等から現状では困難。火災時は近隣消防署と連携し対応しており、現体制で一定の対応力は確保されていると考える。今後は消防団員の確保などを中心に、広域連携も含め消防力の強化を図る。(村長答弁)

地鉄支援 負担に見合う効果へ議論継続

Q 富山地方鉄道への支援 富山地方鉄道の経営維持負担金の6,574千円について問う

富山地方鉄道へ経営赤字分を無償負担するのではなく、負担分を村民が電車を利用する権利として求め、それが電車の利用促進にもつながると考え、村長の見解を質した。

A 今後の支援は在り方検討会において議論を深めたい

舟橋村における駅舎の存在は、通勤・通学の利便性や子育て環境の向上に寄与し、移住促進の重要な要素と認識している。地鉄への支援は、こうした利得を踏まえ沿線自治体と協調して実施し

ており、負担に見合う効果や在り方について今後も検討が必要。公平性や利用促進の観点から、具体的な還元策も含め議論を深めたい。

06 一般質問 加藤 智恵子 議員



◀動画はこちら



多世代が楽しめるオレンジパークのイベントを検討

Q オレンジパークの記念イベントについてについて問う

オレンジパークの東屋にテーブルが設置され、小学生が希望した「みんなとだからたのしめるブランコ」も完成しました。住民の希望が形になりみんながうれしく思っています。

そこでこの設置を記念して、子どもから高齢者まで参加できるスポーツイベントを開催し、世代間交流や健康づくり、地域のつながりを深める機会になるのではないかと考えます。

A 多世代が楽しめるイベント実施に向け検討

東屋のテーブル設置については、時間を要したことをお詫び申し上げるものであるが、その分、十分な設備を整えることができたものと考えており、今後多くの方に活用いただくことを期待している。オレンジパークの記念イベントについては、公園の特性上、本格的なスポーツイベントの実施は難しいものの、遊びの要素を取り入れた内容であれば実施可能と考える。しかし、子どもか

ら高齢者まで幅広い世代が一緒に楽しめる内容については検討段階であり、引き続き提案を求めてまいりたい。また、3月15日には園むすびプロジェクトによる「みんなとだからたのしめるブランコ」のお披露目会が開催される予定である。多くの方のご来場を期待するとともに、地域への周知と参加促進を図っていくものである。

増加する単身高齢者世帯の総合的な孤独・孤立対策を推進

Q 高齢者の孤立防止と最期まで安心して暮らせる地域づくりについて問う

全国では、内閣府の推計により、令和6年に自宅で亡くなり社会的に孤立していたとみられる方が約2万1千人を超えたと報告されています。本村においても高齢化が進み、単身高齢者世帯の増加が見込まれます。

そこで住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる体制づくりが重要であると考え、以下3点お伺いします。

- 1 点目、本村における孤独・孤立対策の推進状況と、関係機関との連携体制について
 - 2 点目、地域包括支援センター等につながない単身高齢者の把握と見守り体制について
 - 3 点目、孤独や不安を抱える方が助けを求めやすい地域づくりについて
- 村としてどのように進めていく考えか、お聞かせください。

A 高齢者の孤独・孤立を防ぐため地域連携による支援を推進

舟橋村における孤独・孤立対策については、65歳以上の一人暮らし高齢者79人を対象に、社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携しながら各種施策を実施している。要介護認定を受けていない高齢者には年1回「おたっしゅチェックリスト」を配布・回収し、リスクの高い方には家庭訪問やサービスの案内を行っているほか、希望者には緊急通報装置を貸与し、不安の軽減と孤立防止に努めている。また、各地区において健康体操教室やお茶会などの地区サロンを開催し、地域とのつながりづ

くりを支援している。さらに、民生委員による訪問活動や、避難行動要支援者台帳に基づく見守り、配食サービスの実施などにより、支援につながない高齢者の把握と見守り体制の強化を図っている。徘徊SOSネットワークや見守りシール事業の実施により、認知症対策の充実にも取り組んでいる。今後も関係機関と連携し、見守りにとどまらず、社会参加や生きがいづくりを含めた総合的な孤独・孤立対策を推進してまいりたい。

My Recommended Movies

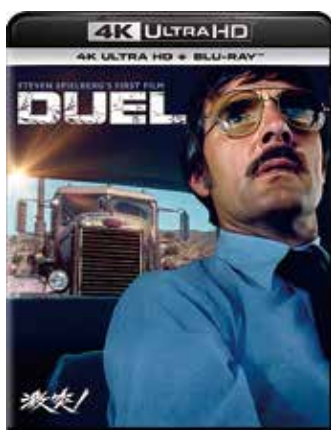
私のおすすめ映画（田村議員）



親父が役員を勤める会社にて 撮影協力:山陽陸運株式会社

セールスマンが運転中に不気味なタンクローリーに 追いかける恐怖を描くサスペンスの傑作!

『激突!』(原題: Duel)



『激突!』

4K Ultra HD+ブルーレイ: 6,589円(税込)
Blu-ray: 2,075円(税込) / DVD: 1,572円(税込)
発売・販売元:
株式会社ハピネット・メディアマーケティング
© 1971 Universal Studios. All Rights Reserved.
*発行時の情報です

若かりし頃のスティーン・スピルバーグが撮ったテレビ映画で、今でいう「あおり運転」がテーマです。

この映画を始めてみたのは小学生の時に、たしか高島忠夫さんが解説をしていた「ゴールデン洋画劇場」だったと記憶しています。

赤い乗用車のサラリーマンとタンクローリーのドライバーの一騎打ちと言いますか、最後まで顔を見せず、運転席からもほとんど降りてこないタンクローリーの主、不気味なものを感じました。

ほぼ全編あおり運転というシンプルな内容でありながら、思わず見入ってしまう構成はさすがで、たったこれだけのネタで1時間半の映画にしてしまうあたり、凄いです。

最初の街を映すシーンから何となくスリラーな雰囲気漂い、カフェに入って「やれやれ」と思ったら、窓越しにタンクロー

リーが見えたところでホラー感が一気に増してきます。

どこまでも続く無人の道を、殺人鬼に追いかけるながらのドライブ。アメリカで、なぜ銃が消えないのか?

この無人の荒野の中で身を守る手段がなければ生き残れない。警察が来る前に、殺されてしまう…、怖いです。

公衆電話のシーンで、不穏な感じで映される主人公の演出や、ロードサイドのダイニングで、皆さん飲酒しているシーン…(飲酒運転はダメだろ!)。そして事情を知らない他人からは、主人公の方が異常者に見えるのも、なかなか怖いものがあります。

真っ黒な排気ガスを吐きながら執拗に追いかけてくる、錆びついたタンクローリー、逃げ惑う赤い車、人気のない道と街、老夫婦に助けを求めたら無視される…etc.

なにはともあれ、今でも見ごたえのあるスリラーな作品ではないでしょうか。

3月定例会議案一覧

会期：3月2日～3月13日

3月定例会に提出された案件について、付託された委員会で審査を行う**委員会質問**。
委員会での審査の内容と議案審議の結果をお伝えします。

付託先／議案 第3号（所管部分）・第4号・第9号（所管部分）・第13号～第18号：総務教育常任委員会

議案 第3号（所管部分）・第5号～第8号・第9号（所管部分）・第10号～第12号：産業厚生常任委員会



議案	内容説明
③	令和8年度一般会計予算23億4,807万4千円（前年度比7.8%増）が計上されました。 主な予算は、標準化20業務外周辺システム改修業務委託料1,549万円、農産品加工施設整備6,000万円、舟橋村スマートヴィレッジ構築事業委託料2,300万円、自動運転バスの導入に向けた実証実験委託料100万円、スマホ購入補助金30万円、シニアカー・特定小型原動機付自転車購入補助金50万円、無医村解消のための診療所開設等支度金500万円、「放課後等の居場所」見守り業務委託料183万円、加齢性難聴者補聴器購入費助成事業8万円、農道橋橋梁点検等業務委託料351万円、京坪川河川公園テニスコート照明設備設置実施設計・工事5,888万円、京坪川河川公園遊具設置工事825万円等です。
④	令和8年度土地取得事業特別会計予算32万円7千円（前年度比0.3%増）が計上されました。
⑤	令和8年度国民健康保険事業特別会計予算1億6,274万8千円（前年度比5.9%減）が計上されました。
⑥	令和8年度後期高齢者医療事業特別会計予算8,029万8千円（前年度比19.0%増）が計上されました。
⑦	令和8年度簡易水道事業会計予算1億2,909万6千円（前年度比13.9%増）が計上されました。
⑧	令和7年度一般会計補正予算（第8号）……増額補正590万円 除雪費用590万円の予算措置について専決処分を承認しました。令和7年度予算総額は24億3,610万5千円となりました。
⑨	令和7年度一般会計補正予算（第9号）……増額補正8,059万5千円 歳入では村民税、固定資産税等の村税やふるさと納税寄附金の増額3,309万8千円、地方交付税の増額4,809万円等を計上。歳出では保育所運営委託料の増額424万3千円や舟橋村消防団屯所シャワー室他工事費の増額188万1千円等を計上。その他各事業費の確定に伴う予算措置により、令和7年度予算総額は25億1,670万円となりました。
⑩	令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）……予算額増減なし 子ども・子育て支援金制度システム整備事業769万円を翌年度に繰り越して使用することができる経費としました。
⑪	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）……減額補正12万8千円 事業費の確定に伴う予算措置により、令和7年度予算総額は7,399万3千円となりました。 また、子ども・子育て支援金制度システム整備事業77万円を翌年度に繰り越して使用することができる経費としました。
⑫	「児童福祉法」及び「子ども・子育て支援法」の一部改正に合わせて「舟橋村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」の制定を行いました。
⑬	「舟橋村の職員等の旅費に関する条例」の一部改正に合わせて「舟橋村各種委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する条例」の一部改正を行いました。
⑭	「旅費法」の一部改正に合わせて「舟橋村特別職の職員の給与並びに旅費に関する条例」の一部改正を行いました。
⑮	「人事院規則」の一部改正に合わせて「舟橋村の職員の給与に関する条例」の一部改正を行いました。
⑯	「旅費法」の一部改正に合わせて「舟橋村の職員等の旅費に関する条例」の一部改正を行いました。
⑰	舟橋会館の大人（13才以上）の入浴料を350円から450円に変更するため「舟橋会館条例」の一部改正を行いました。
⑱	国民健康保険税の税率改定及び子ども・子育て支援金分の新設のため「舟橋村国民健康保険税条例」の一部改正を行いました。



委員会質問

住みよい舟橋村

総務教育常任委員会

自動運転バス導入を視野に舟橋村に効果的な公共交通手段について実証実験を実施

問 令和8年度当初予算で100万円計上されている自動運転バスの導入に向けた実証実験委託について実験計画の内容は。(森)

答 実証実験は約3ヶ月間を見込んでいます。燃料代、運転手の講習に係る費用、運転手人件費として合計100万円を計上。令和6年度に実施した住民アンケート結果からも移動手段として新たな交通施策が必要と考えているが、昨今の情勢を考慮すると、将来に渡って運転手を確保することは難しく、運転手ありきの施策は好ましくない。持続的な地域交通施策を展開していく上でも、自動運転バス導入も方策の一つとして調査をすすめていくべきと考えており、必要な事業費を計上した。

舟橋村への共感と定着を核として関係人口・ふるさと納税を拡充し、教育・医療・福祉分野の新規事業に係る財源を確保

問 当初予算で2,300万円計上されているスマートヴィレッジ構築事業委託について事業の全容と展望、具体的なゴールのイメージは。(古川)

答 令和7年度に実施した、人材育成プログラム事業を発展させた事業。村内在住の方、村外在住の方14名の意見としてまとめた、「市街地近郊でありながら田園風景が広がる緑豊かな土地」、「地域ぐるみで子育て支援・教育支援の環境が整っている環境」、「面積、人口ともに小規模であることから事業をスモールスタートさせやすい」という舟橋村の魅力を活かした、舟橋村をより活性化させるための基本設計と情報発信の拡充、民間事業者との連携強化を図り、関係人口及びふるさと納税を拡充させ、将来に渡って舟橋村が持続可能な自治体とするための体制を構築するもの。令和8年度を初年度とした3年間の事業と考えている。

惣菜製造加工と海産物取扱いを想定。ふるさと納税拡充に向けた施設を整備

問 当初予算で5,780万円計上されている農産品加工施設整備事業の内容は。想定している加工品と、その製品化に伴う産業振興及びふるさと納税寄附額増加の見通しは。(古川)

答 当該施設を整備することで、惣菜製造加工許可を取得するのが事業目的の一つ。二点目に、富山県の特産品として全国的に知られている海産物の取扱も許可を得ること。これらを主たる目的として当該施設の整備を進めたい。現在も運営されている味噌加工は、施設整備後も冬期間に継続いただきたく、本年の冬前までに施設整備を完了した上で、舟橋村独自の農産加工品を製造し、年末のふるさと納税ピーク時期に備えたい。味噌加工に必要な機材もあわせて整備する。

充実した子育て環境を活かして子育て世代に「選ばれる村」としての施策を展開

問 若い世代が「ここで子育てしたい」と思える独自施策は。(加藤)

答 現状においても舟橋村は、子育て世代から高く評価されていると認識している。役場周辺に保育所や学校等、必要な公共施設がコンパクトにまとまっているのが要因の一つ。運用面で大きな強みとなっているのは、子育て支援センターの利便性。子育てに係る楽しさや悩みを共有することで利用者同士が関わりを深め、自らイベントを企画運営している状況。子育て支援センター利用を起点に舟橋村に移住してくださる方も多い。また、リラフォートでは居住者同士が子育てを共助して生活した上で、舟橋村の良さを実感し戸建住宅をもつ方も多い。これらの施策さらに充実させたい。



村民の幸福度向上を！

産業厚生常任委員会

水門設置に伴う許可水利権取得に向け調査を実施

問 当初予算で327万8千円計上されている、細川沿川許可水利権取得に要する調査の概要は。また、他を含めて村内の河川水利権の現状は。(小杉・竹島)

答 水利権には旧河川法制定前から継続的に水を利用してきた実態に基づく慣行水利権と、河川法第23条に基づき河川管理者の許可を受けた許可水利権がある。細川その他、八幡川や京坪川も慣行水利権に基づき河川水を使用している状況にあるが、竹鼻及び古海老江に新たな水門を設置した細川については、河川管理者である県の許可が必要となった。許可申請には年間の河川水量を図る等、専門的な調査や調査結果報告書作成が必要となるため業者に委託して実施するもの。

部活動の地域展開移行に伴いテニスコートに夜間照明を整備

問 当初予算で設計委託料608万3千円、工事費5,280万円計上されている、京坪川河川公園テニスコート照明設備設置事業の整備概要は。数年間に渡りテニスコートに係る整備が執行されているが、公費を投入し続ける意義は。村のスポーツ振興にどの程度結びつけられるか。(小杉・竹島・古川)

答 部活動の地域展開を進める方針として、令和8年度から10年度を前期改革実行期とし、まず土日休日は地域へ移行、体制が整えば平日夜間も移行する。継続する部活動も令和10年度までの移行を目指し、部員数の少ない部は募集停止のうえ令和9年度から廃止する。加入者の多い部活動は維持したいが、費用回収は難しい状況である。硬式テニスは地域指導者による活動が続いており、今後の地域展開に向けて夜間照明を整備し、平日夜間の活動環境を確保する。照明は3面コートすべてに対応するよう

8基設置する予定。中学生中心の現行クラブを将来的には小学生や一般成人にも拡大し、20年以上の実績を生かして地域スポーツの核とする。自立した組織運営を支援しつつ、卓球と硬式テニスを重点的に支援していく。また、整備を契機に新規参加を促す施策も求められている。

国民健康保険 高額療養費増加傾向

問 国民健康保険において、近年の実績から医療費の減少が見込まれるとのことだが、その要因は。(古川)

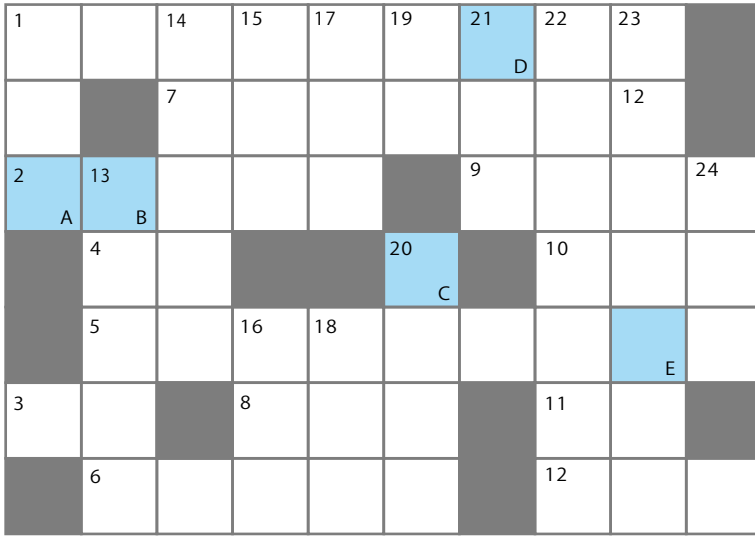
答 国民健康保険被保険者は団塊世代の退職に伴う国保加入等の要因により微増傾向にある。医療費も総額としては増加傾向にある。当初予算では医療費は前年度比較で減としたが、近年の傾向から高額療養費は増と見込んだ。医療費と高額療養費の総額では増額としている。

すべての子ども達と保護者が利用しやすい環境を整備

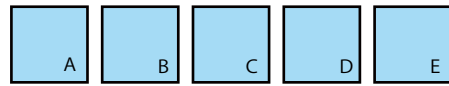
問 こども誰でも通園制度において、障がい児・医療的ケア児も通園できる環境整備について、今後の取組みは。(竹島)

答 この制度は一般型と余裕活用型がある。舟橋村は定員に空きがある余裕活用型で実施予定。対応する職員人数は現状のままで運営予定。その状況により定員に空きがある状況で受け入れることになる。現状でも医療的ケア児を保育園で受け入れている状況もある。保護者がこどもの世話をするため就業していない場合の保育園入所はできないが、富山県リハビリテーション病院こども支援センターの児童発達支援サービスを利用いただいたり、村外施設になるが、就園前のこどもの遊び場や保護者同士の交流の場を利用いただいたり等で対応している。今後も、こども誰でも通園制度に限らず、こどもや保護者が利用しやすい環境の整備に努める。

Bridging Crossword



村で開業予定の
クリニックの名称
ふなはし



クリニック

○ヨコのカギ

- 1：子供達の安全を見守る舟橋村○○○○○○○○○○F villager's
- 2：「高級な」「しゃれた」「派手な」という意味の英語
- 3：ポルトガル語の“pão”に由来する食べ物
- 4：磁気的な影響を与える物理的な場のこと
- 5：残りの人生で成し遂げたいことや理想の過ごし方、などを書き留めるノート
- 6：体調維持のための食事制限の事
- 7：保護処分として送致された少年を収容するための施設
- 8：キンブナ、ギンブナの総称
- 9：草木を植えて緑を増やすこと
- 10：春の山菜でオオバギボウシの若芽の事
- 11：英語で「city」
- 12：生まれたときから赤ん坊に生えている毛

○タテのカギ

- 1：「生麩」の読み
- 13：会議の議題やスケジュールをまとめた進行計画のこと
- 14：中国の3大発明。「活版印刷術」「火薬」ともう一つは？
- 15：徳島県のジオパーク「○○○ジオパーク」
- 16：江戸時代に始まった、調理された料理を届けるサービス
- 17：ハレアカラの噴火によって、2つの島が繋がってできたハワイの島
- 18：過去の人類が残した土器や石器などの動産的なものの総称
- 19：「光の画家」と呼ばれるフランスの画家
- 20：公園部長の発案で、オレンジパークに設置された遊具「○○○○だから楽しめるブランコ」
- 21：人として守るべき道、道徳の事
- 22：1970年大阪万博で岡本太郎が制作したシンボルタワー
- 23：「すべてを含んだ」「包括的な」という意味の英語
- 24：英語で凧の事

議会広報特別委員会

委員長：小杉 知弘
副委員長：古川 元規
委員：前原 英石

あしがき

今年も4月6日～4月15日までの10日間「2026年春の全国交通安全運動」が行われました。

特に今年は自転車の「青切符」制度が本格運用され、自転車にも反則金が適用される大きな転換期となりました。

自転車を利用される皆さんは、取り締まりのポイントと罰金額などルールをしっかり把握して期間中のみならず、安全な自転車使用に心掛けて頂きたいと思います。(前原 記)

議会・議会だよりについて、
皆さまのご意見・ご感想を
お寄せください。



読者アンケートフォーム